

もみ殻の焼却熱を利用した野菜の水耕栽培

＜概要＞

- ・ 事業主体：（株）あかりテック（新潟県見附市）
- ・ 事業開始時期：H28年10月
- ・ 総事業費：1,000万円
（うちもみ殻焼却熱供給設備（2基）分 420万円）
- ・ 燃料：もみ殻（約40トン／年）



【水耕栽培ハウスの外観】

＜特徴的な取組＞

- ・ 電気工事業を行う（株）あかりテックは、もみ殻の処分が課題となっていた地域の農事組合法人からの相談を受け、もみ殻の焼却により発生する熱を利用し、農業ハウスでリーフレタスなど葉物野菜の水耕栽培に取り組む。
- ・ 水耕栽培により生産された野菜は、地域の道の駅の直売所で農薬を使わずに育てた野菜として付加価値を付け販売。
- ・ もみ殻を燃料とすることで、燃料費を重油と比べ、6割程度削減。
- ・ もみ殻の焼却灰（くん炭）は、特殊肥料や土壌改良材として、農家やゴルフ場などに販売。また、市内の障がい者施設と連携し、くん炭の袋詰めや梱包作業などを同施設の障がい者に携わってもらうことで、働く場を提供。



【ハウス内の水耕栽培の様子】



【もみ殻ストーブ】



【生産された野菜(直売所で販売)】



【袋詰めされたくん炭】